

2010. 3. 20(土)

徳島新聞

糖尿病対策の
取り組み報告

徳島市内で県民会議

徳島県や県医師会など
17団体でつくる県糖尿病
克服県民会議(会長・松
本俊夫徳島大大学院教
授)が19日、徳島市内の
徳島グランヴィリオホテ
ルで開かれ、各団体が効
果的な治療や予防向け
た取り組みを報告した。

徳島大学病院糖尿病対
策センターの船木真理教
授は、2008年度から
続けている県民疫学調査
について説明。患者の血
糖値やインスリン分泌能
力の分析により、糖尿病
を発症する危険性を予測
できる可能性があること

が分かったとして「調査
を継続し、予測精度を高
めたい」と述べた。

県は、産学官連携で糖
尿病の新たな治療法や治
療薬を開発して産業化す
る構想や、糖尿病治療と
県内観光を組み合わせた
医療観光の振興計画を紹
介。新産業戦略課の小川
卓志課長は「糖尿病克服
に加え、県内商業や観光
に波及効果を生めるよう
に努力する」と話した。